

令和3年度頸北地区地域協議会委員合同研修会

■分科会と講演の研修

俵木 晴之

1月25日(火)に柿崎地区公民館を会場に頸北地区合同研修会が開催され、大潟区からは地域協議会委員9名が参加しました。

研修会は、第1部がテーマ別分科会と第2部講演の二本立てで行なわれました。分科会は「公共交通機関のあり方」と「空き家の活用」について、それぞれ二班に分かれ意見交換が行なわれました。私は「公共交通機関のあり方」(B分科会9名)に参加し、各区の現状と課題について知る事ができました。利用客の減少から定期バスの



開会の挨拶
柿崎地区地域協議会 吉井会長

路線廃止も増加傾向にあり、代わりのデマンドバスの運行も便数が限定され、各区では苦慮しながら足を確保しているのが現状です。また、車両や運転手の確保も厳しく、併せて市からの補助金にも限度があり、さらに拍車をかけているようです。

幸い大潟区は中心地までは遠くなく、路線バスも一路線であるも普段の送迎、移動などにはあまり不便を感じていないように思われます。利用者の多くは高齢の方で病院と買い物が多く、今後は利用者が使いたくなるような使い勝手の良いシステム作り、体制が必要になってくるものと思われれます。

第2部の講演は、前島密記念館館長の利根川文男氏が、前島密の生い立ちと功績や郵便事業の他に日本の近代化に果たした役割についてお話ししていただきました。前島密は「潟町」とのかかわりもあり、潟町三区の杉田医院の杉田玄氏宅に前島密自筆の書が大きな額に納められて飾ってあります。閉会の挨拶は、次年度開催地の大潟区地域協議会の君波豊会長でした。

杉田医院の3代目の杉田直次郎氏が医業を継ぎ、医院を新築した時に、その号として書いてもらったものです。



「正明堂」(せいめいどう)
明治41年初秋 杉田国手清堂
鴻爪子 前島密

※潟町の杉田玄さんより提供していただきました。

■分科会 空き家の活用について

五十嵐 公子

コロナウイルス渦中、万全な感染対策での研修会でした。

私はテーマが「空き家活用について」の分科会に参加しました。空き家と言っても家屋だけでなく、宅地や農地、山林等も関係すると共に個人情報も絡むことを知りました。解決して行くには頸北4地区の事情・実情に合わせた検討・協議が必要と感じました。

地域を越えての研修会はとても有意義でした。



編集後記

▼2020年1月頃から新型コロナウイルスが広がりが世界中が混乱する中、既に2年が経過しました▼終息どころかますます感染しています▼我が国では3回目の接種が始まっています▼この間、様々な行事が中止になり、不要不急の外出を控えるようにいわれ、多くの企業が苦しい経営を余儀なくされています▼大潟区地域協議会では活動の一環として、地域施設の活性化対策を取り上げ協議しています▼ウィズコロナ時代と言われる新年度を迎えるにあたり、多くの人達が新しい環境の中での生活を始めます。夢と希望に満ち溢れる将来を願うばかりです。

(濁川清夏)

(編集委員)
俵木一松・濁川清夏
中野幹根・佐藤忠治

大潟区 第50号 地域協議会だより

発行日 令和4年3月25日
発行 大潟区地域協議会
会長 君波 豊
編集 会報編集委員会
事務局 大潟区総合事務所
総務・地域振興グループ
電話 534-2111

審議中

鵜の浜人魚館の利活用の促進について

ワークショップの 進行役を務めて

五十嵐 郁代



進行役の五十嵐委員
(12月23日 地域協議会)

今年度の自主的審議事項のテーマは、鵜の浜人魚館の利活用です。

私は地域協議会委員を二つに分けてグループ討議する進行役を務めさせていただきました。単なる意見出しだけでなく、テーマとどのように繋がっていくのか交通整理をする役で、担当したグループでは人魚館のイメージを作る「今すぐできる身近なこと」を中心に話し合いを行いました。どの意見もすくなくでも取り組める楽しいアイデアばかりでした。二つのグループ討議の意見は今後、まとめられて提出されます。

私は、グループ討議を経て思うことは「今後この自主的審議事項をどのようにしていくか」ということです。委員から出された意見を誰がどのようにいつまでにやるのか。ここは行政任せではなく「住民が主体をもってやってく」という思いがなければ話し合いの意味がありません。

そもそも、利活用とは利用と活用を掛け合わせた言葉。建物をどのように活用して住民が利用していくかがポイント。大事なことはこの意見がどのように進められていくのかをしっかりと地域協議会が見届けることが必要ではないかと思えます。

地域住民で考えて行く

人魚館が大潟の住民にとって大切な存在であることは間違いありませんが、行政任せでは存在が消えて行くことに文句は言えませんが、自分たちの大切な存在であるからこそ、思いをもって行政任せにせず、関わり続けることを地域で考えて行く。地域協議会はそのための一助になるということを感じています。

集客数の

V字回復に向けて

会長 君波 豊

昨年11月から地域協議会では2グループに分かれてワークショップ討議を重ねてきました。整理すると、PR・情報発信の改善、人魚館内外における恒常的なイベントの開催、周辺の環境整備、大潟区内の各種団体・地元企業との協力・連携の必要性、利用者の意見の反映、人魚館を運営管理する(株)大潟地域活性化センターとの話し合い、特産品・土産や食事、人魚館応援隊の見直しなどの課題が数多くあげられました。

多岐にわたって出された問題や課題を精査し、「地域協議会として今後にむけてどう進めていけばよいか」をまとめ上げていきたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症の出口が見えたときに、集客数のV字回復に結びつけられるところを温泉水プールを備えた人魚館は「大潟区の宝」、「つどいの湯、健康づくり、いこいの場」であることの認識を改めていただければと思います。

大潟区地域活動支援事業

7団体10事業の成果報告



発表する防災士会大潟支部の代表者

事業名	提案団体名
1 九戸浜のお宝発掘事業 第2弾 お宝パンフレット作成	九戸浜町内会
2 旧米山道、奥州道道標石碑 修復事業	潟町町内会
3 「天保6年堀割御普請中 日記帳」解説文の出版事業	郷土史友の会 おおがた
4 生徒と地域をつなぐ活動の 周知事業	大潟町中学校 PTA
5 『大潟の食と郷土料理』 レシピ集作成事業	大潟の子どもを 育てる会
6 災害等避難時支援 「安否確認タオル」活用事業	上越市防災士会 大潟支部
7 大潟区の魅力PR事業	まちづくり大潟
8 大潟区散策ルート作成事業	まちづくり大潟
9 情報紙等作成機器の整備に よる市民活動支援事業	まちづくり大潟
10 ドローンを使ったプログラム 勉強会事業	まちづくり大潟

郷土料理のレシピ集や郷土史など

3月3日、上越市地域活動支援事業（大潟区）の成果報告会が、大潟区地域協議会の主催で2年ぶりに大潟コミュニティプラザで開かれました。7団体10事業が各団体の代表者によって地域協議会委員らに報告されました。

また、君波会長から「大潟区地域協議会活動報告」と総務・地域振興グループの水澤主任から「令和4年度地域活動支援事業募集要項（案）」の説明が行なわれました。会の運営の司会及び受付、案内などは、地域協議会委員が分担して行ないました。



地域協議会の活動報告
君波豊会長

資料及び発表では、「九戸浜町内会」は町内の歴史をまとめた冊子を作成し、町内全世帯に配布。「郷土史友の会おおがた」は『天保6年堀割御普請中日記帳』の解説に写真・大潟二四ヶ村の解説などを付けて編集、出版。「大潟の子どもを育てる会」は大潟の食材を使った郷土料理のレシピ集の冊子を制作。学校や家庭での活用に期待。「上越市防災士会大潟支部」は災害時玄関先に掲示することで周囲に家族の安全を知らせる安否確認タオルを製作。大潟区内全世帯に配布。なお、成果報告会で配付された資料が必要な方は、総合事務所まで問合せをお願いします。

大潟区地域協議会の開催状況（令和4年1月～3月）

第9回	1月27日（木）	①地域協議会に係わる諸会議の報告 プレゼンテーション・審査について ②令和3年度地域活動支援事業の成果報告会について ③自主的審議事項（2グループに分かれてワークショップ形式で討議） 「大潟健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館の利活用促進について」
第10回	2月24日（木）	①大潟健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館プールの臨時休業について ②令和4年度地域活動支援の募集要項等について ③自主的審議事項（ワークショップ形式で全体討議） 「大潟健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館の利活用促進について」
第11回	3月17日（木）	①令和4年度、5年度の会長及び副会長の選任について ②自主的審議事項（ワークショップ形式で全体討議） 「大潟健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館の利活用促進について」

勉強会・視察・研修会の開催状況（令和4年1月～3月）

頸北地区地域協議会 委員合同研修会	1月25日（火）	①分科会 テーマ別意見交換 ・公共交通のあり方 ・空き家の活用について ②講演 「近代日本の立役者 前島 密」 講師 利根川利男（前島密記念館館長） 会場：柿崎地区公民館
令和3年度 地域活動支援事業 成果報告会	3月3日（木）	令和3年度地域活動支援事業（大潟区）採択7団体10事業 会場：大潟コミュニティプラザ 多目的ホール

令和4年度地域活動支援事業
（大潟区）提案事業を受付けます！

事前相談期間
3月7日（月）～3月31日（木）
受付期間
4月1日（金）～5月13日（金）

- ★市では身近な地域自治を推進するため、地域活動支援事業を実施しています。
- ★地域における課題解決を図り、それぞれの地域の活力を向上するため、市民の皆さんが自発的・自主的に行う地域活動に対して支援を行います。
- ★私たちの地域を、もっと住みよく、もっと元気にするために、この事業を活用し、まちづくり活動に取り組んでみませんか。

【受付・問合せ】 大潟区総合事務所
総務・地域振興グループ
☎ 025-534-2111

※令和4年度の本事業の予算は、令和4年第1回（3月）
上越市議会定例会での議決をもって成立します。